

平成20年度 決算報告

平成20年度の益城町一般会計および特別会計の決算が、9月の町議会定例会で承認されました。全国的に厳しさを増す財政状況の中、わたしたちの豊かで明るい暮らしと、福祉の充実を最優先に考え、限られた財源を効率的にさまざまな事業に有効に使いました。

一般会計では、歳入総額105億2,708万4千円に対し、歳出総額は、97億3,708万円で、繰越事業分(2億1,630万4千円)を除く歳入歳出差し引き額は5億7,370万円の残額となりました。また、平成19年度の実質収支額5億2,807万7千円を差し引くと、単年収支額は4,562万3千円の黒字となりました。

なお、歳入歳出を前年度と比較すると、歳入で6億3,162万円(6.4%)、歳出で4億9,934万9千円(5.4%)とそれぞれ増加しています。

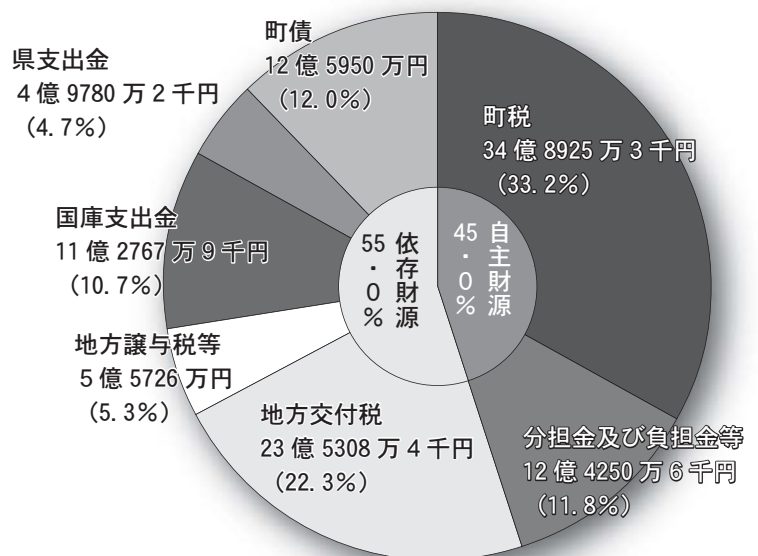
歳入

歳入では、町税が全体の33.2%を占め、前年度よりも1億888万5千8千円(5.7%)の増加、地方交付税は22.3%で2436万9千円(1%)の減少となりました。

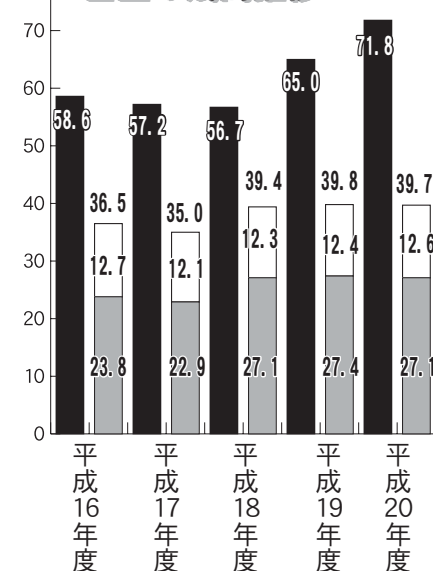
また、町税や町の施設の使用料など町が独自に調達できるお金(自主財源)は、前年度より3億6651万8千円(8.4%)の増加となり、全体の45.0%になりました。

それに対し、地方交付税など国や県から町に入ってくるお金(依存財源)も前年度よりも2億6510万2千円の増加で、全体の55.0%となりました。

歳入総額 105億2,708万4千円



過去5年間の地方債と基金の残高推移



- 地方債
- 一般財源基金
 - ・財政調整基金
 - ・減債基金
 - ・公共施設整備基金
- 特定目的基金
 - ・ふるさと基金
 - ・土地開発基金
 - ・社会福祉振興基金など

町民一人あたりの額

- 地方債(借金)
約 216,395 円
- 基金(貯金)
約 119,650 円